



第5回の一流塾は、講師に木村皓一氏(株ミキハウス代表取締役社長)、松下正幸氏(株パナソニック 代表取締役副会長)をお迎えしました。また、特別ゲストとして渡部恒三氏(衆議院議員、元衆議院副議長、民主党最高顧問)に卓話を頂きました。



(株)ミキハウス社長 木村皓一氏

木村氏は、『熱意ある経営—なくなるとは困る、といわれる会社—』と題し、会社創業時に商品サンプルを持って地域一番店を訪問した時の秘話、取引銀行の支店長とのやりとりのエピソード等をご披露頂き、既成概念を捨ててあきらめずに取り組むことの大切さ、人と人の繋がりを大切にすることの大切さを、ミキハウスのオーナー経営者としての経営哲学に重ね合わせてお話頂きました。講義後には「後継者の問題について創業者の立場からどのように考えているか?」、「ブランド力の維持向上にはどのように取り組まれているのか?」等の活発な質疑が行われ、「“逆境こそチャンスだと思った”という創業者の気迫や熱意に感銘を受けた」「“人間力”の大切さを改めて認識した」等の声が寄せられました。



(株)パナソニック副会長
松下正幸氏

松下氏は、『松下幸之助の人生と経営について』と題し、今のパナソニックの経営理念がいかにして生まれたかを創業者 松下幸之助氏の事業哲学を紐解きながらわかりやすくお話頂くとともに、素直な心の大切さなど、祖父でもある松下幸之助氏から学んだことを数々のエピソードとともにご披露頂きました。講義後には、パナソニックの最近の動向から身内としての幸之助氏との関係についてまで幅広く活発な質疑が行われ多いに盛り上がり、「松下幸之助氏から直接指導を受けた話はリアリティがあり大変勉強になった」等の声が塾生から寄せられました。



衆議院議員 渡部恒三氏

に行われました。

講義後の懇親会では、忙しい国会日程の中、渡部恒三氏を特別ゲストとしてお迎えしました。渡部氏からは、一昨年の政権交代後から野田新政権の発足に至るまでを総括されるとともに、日本の厳しい現状と今後のあり方についてお話を頂きました。また、半世紀にわたる政治家としてのキャリアを振り返る中で、かつての自民党の田中派の七奉行や今まで自分が面倒をみてきている民主党の七奉行の話等「ここだけの秘話」を独特のユーモアを交えた語り口でご披露頂きました。塾生からは、人間政治家としてのスケールの大きさに圧倒された、もう少しお話をお伺いしたかった等の声が上がっていました。交流はそれぞれのテーブルで活発に行われました。



前列は特別ゲストと両講師と塾長